

授業①

音楽科学習指導案

場所 第2音楽室

1年1組 橋本 恵子

1. 単元「間を感じて《じゃんけんうた》をつくろう」
2. 研究主題との関連

郷土の伝統音楽を通して学びを創り続ける授業づくり — 教師の役割に着目して —
 ～郷土の伝統音楽の間に対する知覚・感受を深める授業～

単元について

教材	じゃんけんうた「いんじゃんほい」「はやしのなかから」「王様じゃんけん」(わらべうたなど)
指導内容	間 / 副次的な指導内容: 拍の流れ
指導事項	A 表現(3) イ 音を音楽にしていこうを楽しみながら、音楽の仕組みを生かし、思いをもって簡単な音楽をつくること。
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・間に関心をもって、意欲的にうたづくりをしている。(音楽への関心・意欲・態度) ・間を知覚・感受し、音楽表現の工夫をしている。(音楽表現の創意工夫) ・間を感じて表現ができる。(音楽表現の技能)

子どもたちは、生活の中で、しばしば、何かを決めるときに「じゃんけん遊び」をしている。大人数で鬼を決めるときには「王様じゃんけん」をしたり、わらべうた遊びの中でじゃんけんをしたり、「じゃんけん遊び」に親しんでいる。遊びに応じて、ことばを伸ばしてうたったり、歌詞を長くしてうたったりと、自然に「じゃんけんうた」を遊びに応じてつくりかえ楽しんでいる姿がみられる。このような姿を踏まえ、本単元では、《じゃんけんうた》を教材に「間」に着目し、オリジナルの《じゃんけんうた》をつくることで、間に対する知覚・感受を、さらに深め広げることができるようにしたいと考えた。

【人と地域と音楽】音によるコミュニケーション(同時、輪の隊形)、生活と音楽とのかかわり(生活の音楽)

《じゃんけんうた》とは、じゃんけんをするときの掛け声として用いられるうたである。子どもの遊びの中で伝承されてきたじゃんけんには、「順番を決めるためのじゃんけん」「グループを分けるためのじゃんけん」「わらべうたとして、それ自体が遊びになっているじゃんけん」などがある。このようなじゃんけんうたは、地域によって言葉の言い回しに特徴が見られる。このような文化的背景を踏まえ、グループで生活に基づくオリジナルの《じゃんけんうた》をつくる活動を設定することで、同時性や隊形(輪)をそのまま体験することができるようにしたい。

【音楽の仕組みと技能】間

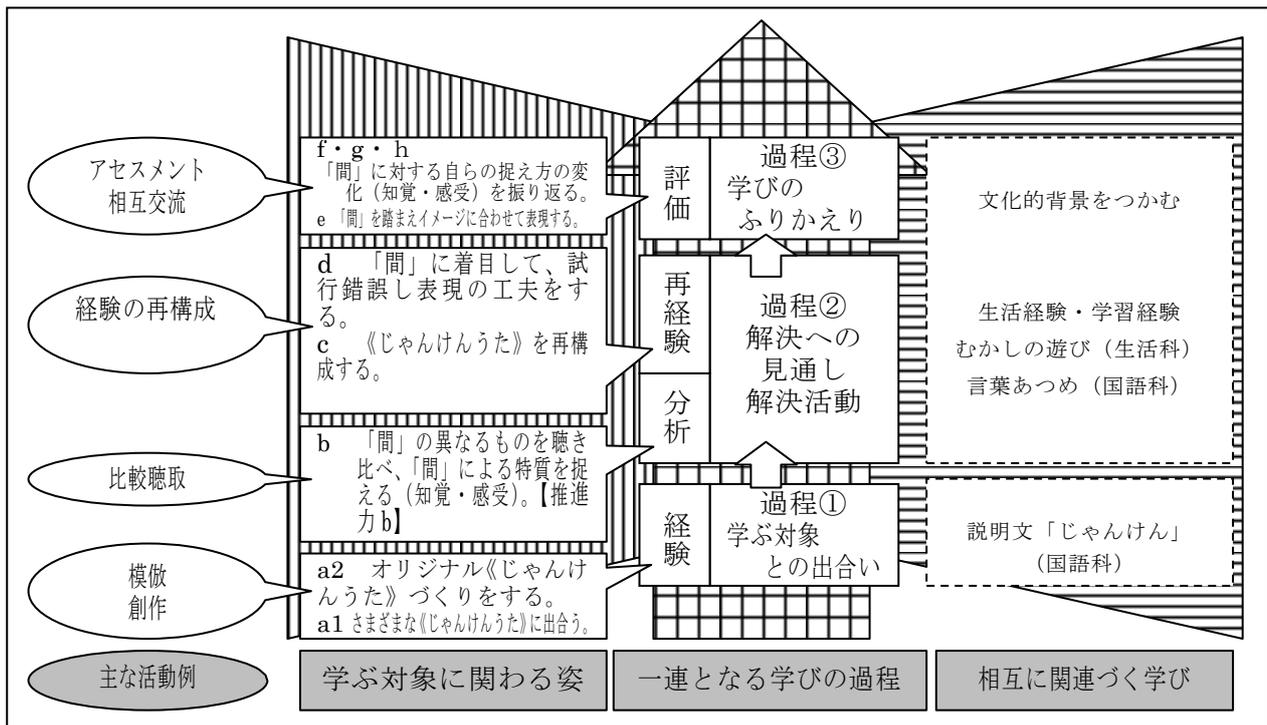
「じゃんけん遊び」では自然に「じゃんけんうた」を遊びに応じてつくりかえ楽しんでいる姿がみられる。そこでは歌詞のひとつとまりごとに息を合わせて「間」をとって、最後の勝負をつけるじゃんけんまでの緊張感を引き延ばすところにおもしろさがある。そこで、みんなでタイミングを合わせて間をとって一斉にじゃんけんをするという遊びの特徴に着目し、「間」に着目した《じゃんけんうた》をつくる活動を設定する。

【音楽と他媒体】言葉・動き・音楽のかかわり

子どもたちが生活の中で用いている言葉を大切に、「じゃんけんうた」をつくる活動を設定する。自らの生活の言葉、生活の中で活用している「じゃんけん遊び」の様相をそのまま取り入れることで、言葉・動き・音楽の関わりを感じることができるようにする。また、国語科におけるじゃんけん遊びへの学習経験を踏まえ、うたに込めたい、イメージをもとに、共に表現の工夫を重ね、表現の技能を高めていくことへとつなげていくことができるようにしたい。

3. 学びを創り続ける授業づくりの具体的な視点

【視点1】音楽的感受力を豊かに育む学びを創り続ける過程



【視点2】学びを創り続ける授業における「教師の役割」

本単元では、「間」に着目した創作活動を展開する。《じゃんけんうた》の文化的背景、遊びの経験、国語科説明文「じゃんけん」の学習経験を踏まえ、グループで共にうたいながら表現を高めていくことができるようにする。適宜、タブレット端末で、グループの表現を録画することで、イメージに合わせて共に表現の工夫を重ねたり、表現の高まりを共に感じたりしながら豊かに表現していくことができるようにしたい。

【視点3】郷土の伝統音楽の教材化

《じゃんけんうた》は、地方・地域によりさまざまな間や言葉の抑揚、言葉の伸縮でうたわれるうたである。このような文化的背景を踏まえ、本単元では、オリジナルの《じゃんけんうた》をつくる活動を設定する。本単元を設定することで郷土に伝わる音楽から、生活経験・学習経験を踏まえ、「間」に対する音楽的感受力を深めていくことができるようにしたい。

4. 他単元との関連

主たる指導内容【間】
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 1年【まをかんじて《じゃんけんうた》をつくろう】(間/じゃんけんうた) ・間を感じて、オリジナルの《じゃんけんうた》をつくり、うたう。 </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 6年【間を感じて《手締め》をつくろう】(間/手締め《大阪締め》) ・間を感じて、イメージに合わせてオリジナルの《手締め》をつくり、うたう。 </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 6年【間を感じて《文楽》を味わおう】(間/文楽《寿式三番叟》) ・間を感じて、文楽《寿式三番叟》を味わい、紹介文をまとめる。 </div>

5. 指導計画 (全3時間 本時第1時)

ステップ	学習活動	評価			時
		音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	
経験	さまざまな《じゃんけんうた》で遊び、オリジナルの《じゃんけんうた》をつくる。				第1時 (本時)
	1. さまざまな《じゃんけんうた》で遊ぶ。 2. 《じゃんけんうた》をつくり、遊ぶことを楽しむ。	じゃんけんうたに関心を持ち、意欲的に活動している。 【観察・発言】			
分析	間の異なる《じゃんけんうた》を聴き比べ、間の特徴を捉える。				
	1. 間の異なる《じゃんけんうた》を聴き比べ、間の特徴を捉える。	↓	間の違いを知覚・感受している。【観察・発言・ワークシート】		
再経験	間を意識して、オリジナルの《じゃんけんうた》の表現の工夫をする。				第2時
	1. 間を意識して、オリジナルの《じゃんけんうた》の表現の工夫をする。	間に関心を持って、意欲的にうたづくりをしている。【観察・発言】	イメージに合わせて、表現の工夫をしている。【観察・発言・ワークシート】	間を感じ、演奏することができる。【演奏】	
評価	お互いの《じゃんけんうた》を聴き合い、間の特徴を捉え、まとめる。				第3時
	1. それぞれの《じゃんけんうた》を聴き合い遊び、間の特徴をまとめる。 2. 間についてのアセスメントシートに答える。	↓	↓	↓	

※本単元を構成するにあたり、小島・関西音楽教育実践学研究会(2014)『生活感情を表現するうたづくり』(黎明書房)のなかの「事例4 じゃんけんうた」(中村 愛/本校講師)を参考にしています。